

向原保育園のどうして?

Q. どうして向原保育園では保育士のことを「先生」と呼ばないの?

A. 多くの保育園では保育士のことを「先生」と呼んでいます。保護者の方が保育士を呼ぶ時も、職員同士でもお互いを「〇〇先生」と呼び合っています。しかし、向原保育園では職員同士はもちろん、子どもたちも保育士を「〇〇さん」と呼ぶようにしています。

一般的に「先生」というと、教える立場の人という印象をもちます。子どもにとって保育士はどういう立場の大人なのか?と考えたとき、私たちは上からの立場ではなく、保護者のみなさんと同じ立場で、子どもたちの成長を共に喜び、時には一緒に悩んだり、考えたりしたいと思っています。

「先生」を付けて呼びませんが、私たちは保護者の方々と一緒に子育てをしていきたい、時には専門性で頼りになれるそんな存在で居られればと考えています。

つぶやき

先日子どもを連れのお母さん2人が、列に並んでいる時のこと、一方の姉弟と思われる子どもにふと目がいき見ていました。お母さん同士は話に花を咲かせていて、時々子どもたちを気にしているという状況の中、弟は縦横無尽にあちこち行っては、ちょこちょこいたずらをしていました。それを見ていたお姉ちゃんも、低い木の枝から葉っぱをちぎろうとしていました。弟と違ったのは取ろうとするたびに母親が見ていないかどうかを、何度もキョロキョロと確認しながら、葉っぱをちぎっていた様子でした。自分がやっていることがいけないことだと分かっている、弟は怒られないけど、なら見ていなければいいかな…そんな風を感じました。お姉ちゃんだから!と言われ過ぎているかは分かりませんが、でも見ていなければいいということではないし、何より母親がルールブックなのは違うなと考えたりしました。物事の良し悪しを身に付けていく過程こそが大事だなあと、改めて思った一コマでした。



子育て情報誌

むこうはらだより

No.2 東大和市向原1-4-2

042-563-3833

<http://www.mukouharahoikuen.com/>

先月末には風も冷たくなり、すっかり冬の到来を感じられる今日この頃です。保育園の子どもたちは寒くなくても元気いっぱい!コロナウィルスの感染対策を行い、公園で体を動かしたり、自然に触れたりして遊んでいます。朝晩が特に冷えこむこの季節、体調に十分気を付けて、過ごしていきたいですね。



こんにちは向原保育園です

向原保育園では産休明けから就学前までの6年間のうち、乳児は育児担当制、幼児は異年齢混合保育を取り入れています。一人ひとりの成長や発達に合わせて、関わりながら意欲を引き出し、自分で考えて行動できるように援助しています。

<私たちが大切にしている事>

- * 育児担当制
- * 異年齢混合保育
- * あそび
- * わらべうた
- * 課業【環境認識 わらべうた 体操 美術 数(すう) 文学】

<育児担当制>

0~2才児は、食事・排泄・着脱・睡眠等の育児を特定の保育士が行います。園でのお母さんに代わるような存在です。(情緒の安定を大事にし、特定の人からの関りで、信頼関係を築いていきます)

<異年齢混合保育>

3~5才児が1つのクラスで生活、活動をします。年度ごとのクラス替えは基本行わず、兄弟・姉妹のような関係と雰囲気を作ります。(違った立場を経験し、同じクラスの中で自分の力を発揮することができます)

親子でつくろう！！

手づくり ピザ

園児がクッキングで作った料理を紹介します

ピザ		*具*
生地（直径8cm 10枚）	10枚	・ケチャップ
・じゃが芋	250g	・玉ねぎ（薄切り）
・強力粉	180g	・ピーマン（せん切り）
・オリーブ油	50cc	・ウインナー（輪切り）
・塩	少々	・ミックスチーズ

作り方

- ①茹でたじゃが芋をビニール袋に入れてつぶす
 - ②①にオリーブ油、塩を加えてよく混ぜる
 - ③②に強力粉を加えてこねる
 - ④③の生地を丸めてから伸ばす
 - ⑤④にケチャップを塗り、具をのせてオーブン200℃で15分焼いて出来上がり
- ★具はハム、パイナップル、ツナなど好きなピザにしてもOK！

④



⑤



⑤



できあがり!!



- *スイーツぎょうざ***
- ・牛乳
 - ・ぎょうざの皮
 - ・さつま芋クリーム
 - ・さつま芋
 - ・はちみつ
 - ・チョコチップ
 - ・パイナップル缶詰
 - ・煮りんご
 - ・バター



作り方

- ①茹でたさつま芋をつぶして、はちみつを加えて牛乳でなめらかなクリーム状にする
 - ②ぎょうざの皮の半分にさつま芋クリームをのせ、チョコ、パイナップル、煮りんごを好みの量を置いて皮を半分に折る
 - ③②をホットプレートに並べてバターを散らし160℃で両面焼いたら出来上がり！
- ★ぎょうざの皮を使った料理は他にも、茹でたじゃが芋とミートソースを混ぜた具を入れたり、クリームチーズとあんこを入れたぎょうざも子どもたちには人気です

向原保育園ってどんなところ？

音楽教育はわらべうたで行っています

わらべうたは大人が作り教えるものではなく、子どもたちから生まれた、子どもたちのものです。古くから歌い継がれてきた、わらべうたは子どもの情緒を豊かにし、くりかえしうたうことで情緒の安定にもつながります。こもりうたをうたって寝かしつけてもらう、一対一であやしてもらう関係から、大人と体を動かしてあそび、さらには友だちとうたい動き、役を担う、その中で喜びを共にしたり我慢したり、ルールを守ったり、出来ないことを助けられたり努力したり…とあそぶ中で子どもたちの成長に必要な発達を促しています。

その音楽性が子どもに受け止められるのは、子どもが大人と一緒にその音楽の鼓動を自分のものとして感じるからです。そしてその鼓動は特に生後3年間、子どもがうたをきくことによって、しっかりと自分のものへと培われていきます。



人の声の心地よさ

わらべうたは、楽器などで伴奏することなく、人の声のみでうたわれています。子どもにとって人の声が一番心地よく感じられ、耳に自然と入ってきます。

日本語の獲得

日本語のイントネーションに合ったリズムや旋律になっているので、わらべうたを耳にすることで、自然と言語のリズム、イントネーション、発音の仕方を獲得し、日本語力を育てていきます。

無理のない音程

子どもが歌いやすいだけでなく、子どもの耳に聴き取りやすい、ド・レ・ミ・ソ・ラの5音のみで構成されています。

あそびの様子



大人が床の上に足を伸ばして座り、その上に子どもを乗せて、はづませうたいます。



向かい合ってやって見せたり、子どもの両手をもってあげたりしながらうたいます。

幼児になると集団での遊びとなり、その中でルールを守って歩きながらくり返しうたい、門くぐり遊びをしています。うた、遊び方を覚えると、子どもたちだけで遊ぶことも、みられるようになります。

